

令和5年6月2日 合同記者会見資料

梅雨前線による大雨について

この資料は、6月2日15時開催の共同会見時点の資料です。その時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

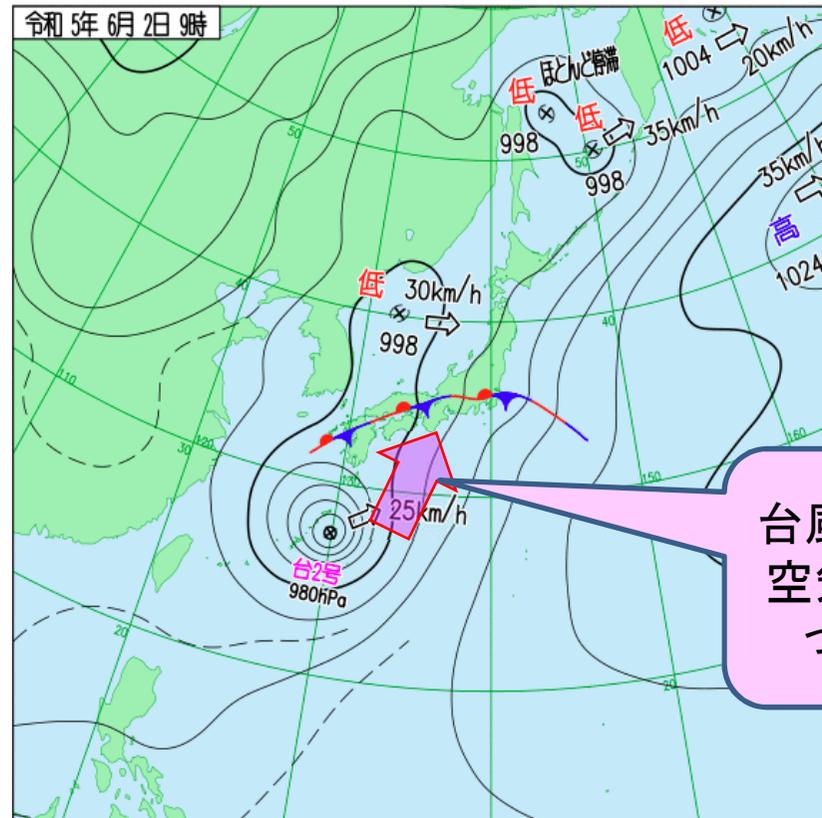
2023年6月2日

大阪管区気象台
気象防災情報調整官 小畠

気象実況

地上天気図

令和5年6月2日09時



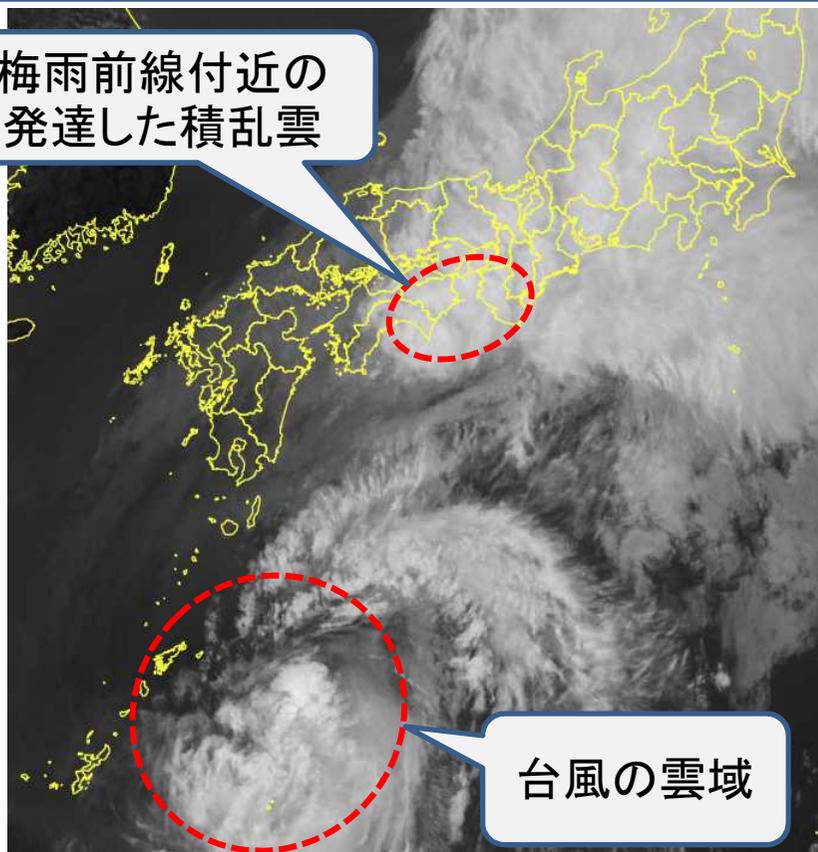
台風周辺の温かく湿った空気が梅雨前線に向かって流れ込んでいる

- 台風第2号は、日本の南を1時間におよそ25キロの速さで東北東へ進んでいる。
- 西日本にある梅雨前線に向かって台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、梅雨前線の活動が活発になっている

気象衛星（赤外画像）

令和5年6月2日12時30分

梅雨前線付近の
発達した積乱雲

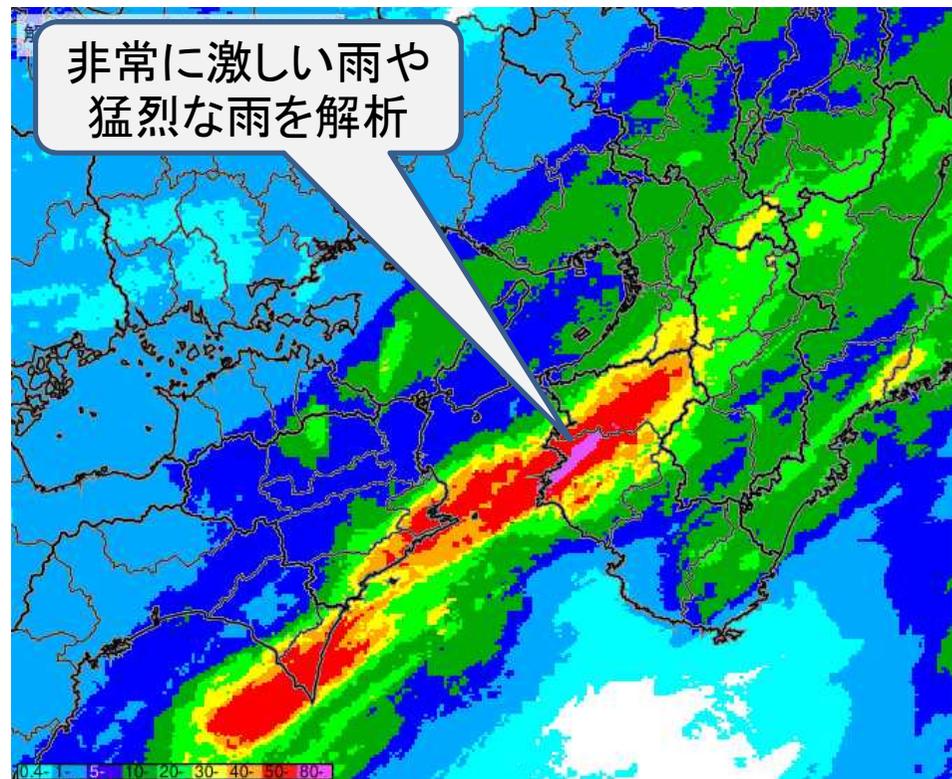


台風の雲域

解析雨量（1時間降水量）

令和5年6月2日12時30分

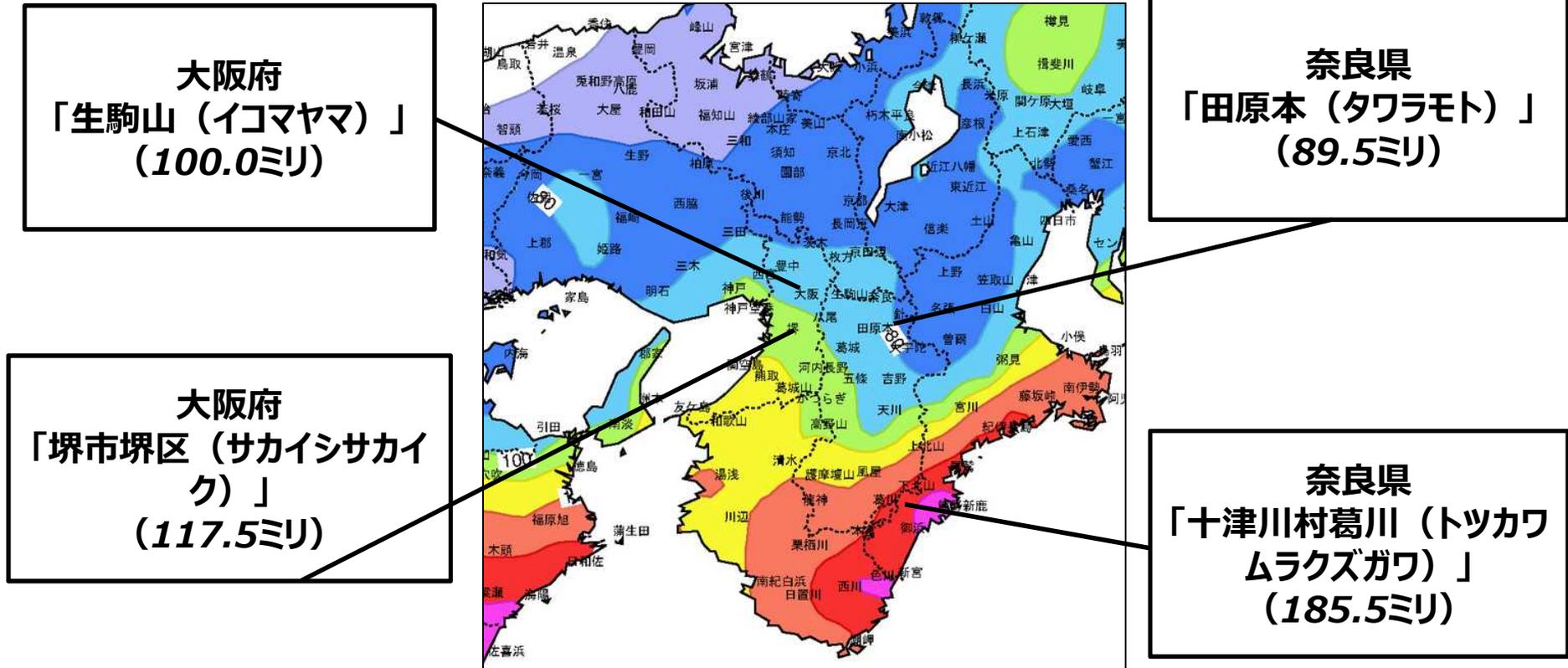
非常に激しい雨や
猛烈な雨を解析



- 梅雨前線近傍の四国や近畿で発達した積乱雲が存在
- 特に和歌山県では、非常に激しい雨や猛烈な雨を観測

降り始めからの降水量

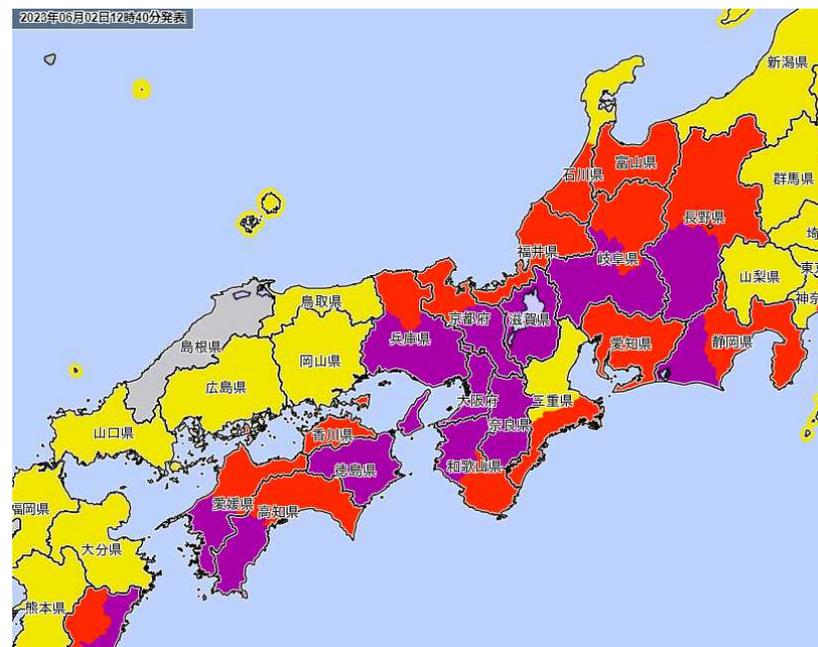
(2023年6月1日11時～6月2日12時) (※速報値)



- 奈良県の大和川付近では、降り始めからの雨量がおおよそ100ミリを超える雨を観測。

土砂災害警戒情報・警報・注意報 の発表状況

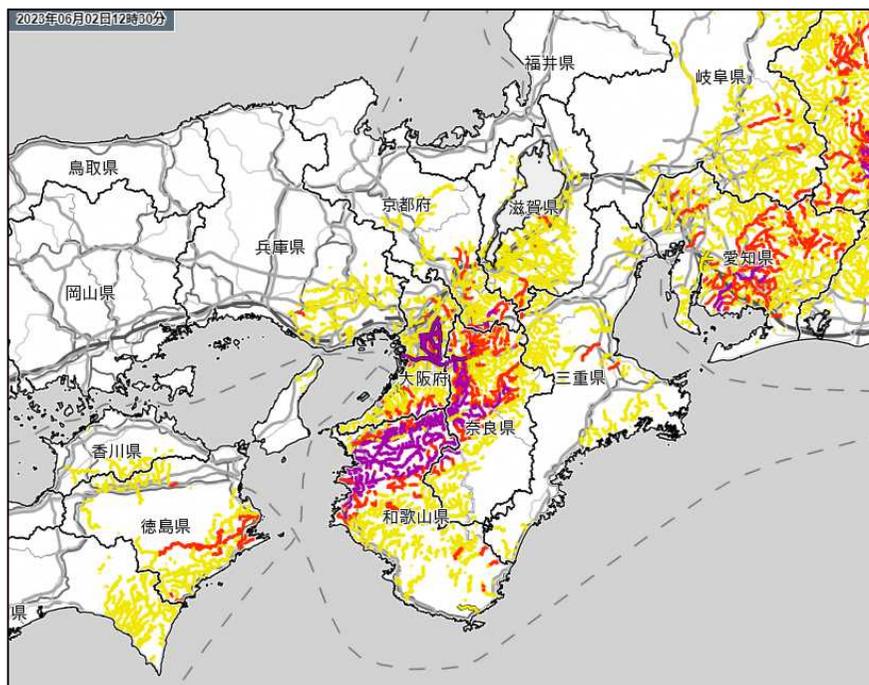
2023年6月2日12時40分現在



今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

キキクル(危険度分布)

洪水害 2023年6月2日12時30分



地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

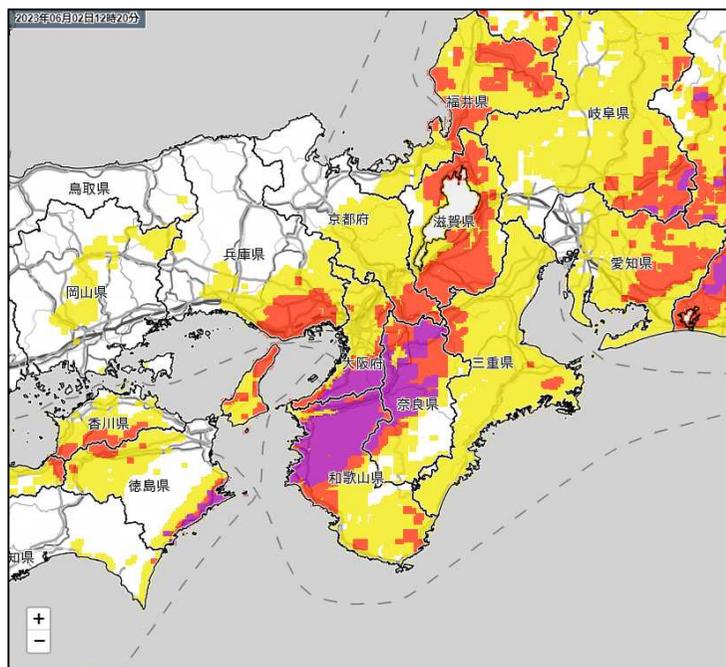


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

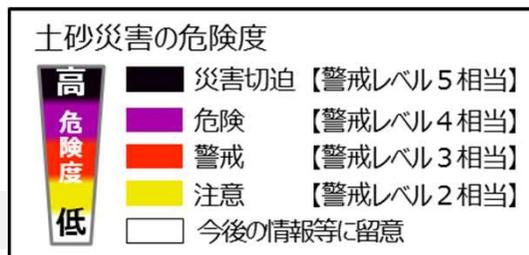
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.ima.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>)

キキクル(危険度分布)

土砂災害 2023年6月2日12時20分



地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

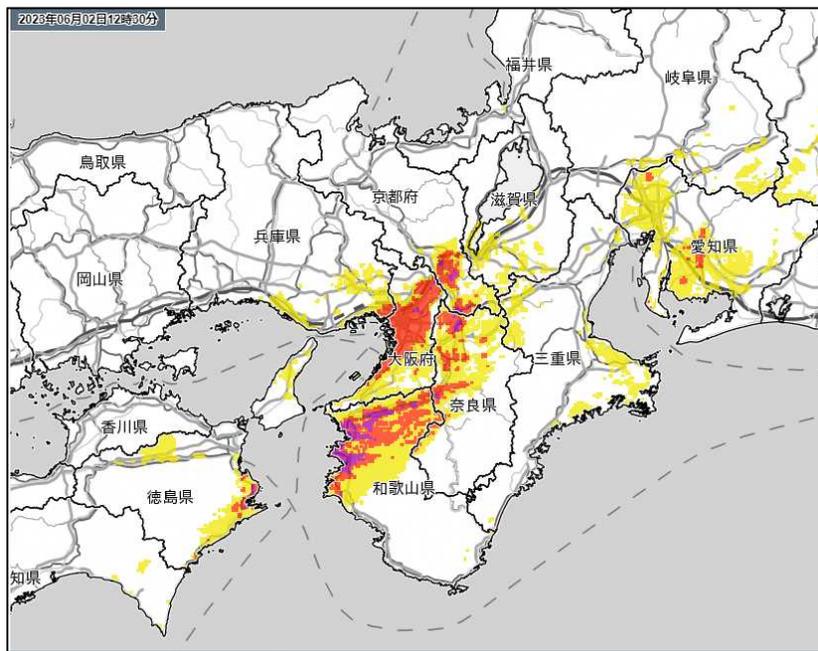


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

キキクル(危険度分布)

浸水害 2023年6月2日12時30分



地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

浸水害の危険度



- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.ima.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

近畿地方の防災シナリオ

		2日					3日							
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
大雨(浸水)	近畿北部	■	■	■	■	■								
	近畿中部	■	■	■	■	■	■							
	近畿南部	■	■	■	■	■								
大雨(土砂)	近畿北部	■	■	■	■	■	■							
	近畿中部	■	■	■	■	■	■	■						
	近畿南部	■	■	■	■	■	■	■	■					
暴風	近畿北部陸上													
	近畿北部海上													
	近畿中部陸上		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	近畿中部海上		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	近畿南部陸上		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	近畿南部海上		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
波浪	近畿北部													
	近畿中部		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	近畿南部		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
雷	近畿北部													
	近畿中部						■	■						
	近畿南部						■	■						

■ 警報級 ■ 注意報級

2日の最大1時間降水量

近畿北部 50ミリ
 近畿中部 60ミリ
 近畿南部 60ミリ

2日12時~3日12時
 24時間予想雨量(多い所)

近畿北部 100ミリ
 近畿中部 180ミリ
 近畿南部 200ミリ

奈良県の防災シナリオ

		2日				3日							
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
奈良北部	大雨(土砂)	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Yellow	Yellow				
	大雨(浸水)	Red	Red	Red	Yellow								
	洪水	Red	Red	Red	Red	Yellow	Yellow						
奈良南部	大雨・洪水	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Yellow	Yellow				
	大雨(土砂)	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Yellow	Yellow				
	大雨(浸水)	Red	Red	Red	Yellow								
	洪水	Red	Red	Red	Red	Yellow	Yellow						

警報級
 注意報級

2日の最大1時間降水量

奈良県北部 50ミリ
 奈良県南部 50ミリ

2日12時~3日12時
 24時間予想雨量 (多い所)

奈良県北部 150ミリ
 奈良県南部 200ミリ

参考

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

(参考) 大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生!

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇!**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要!

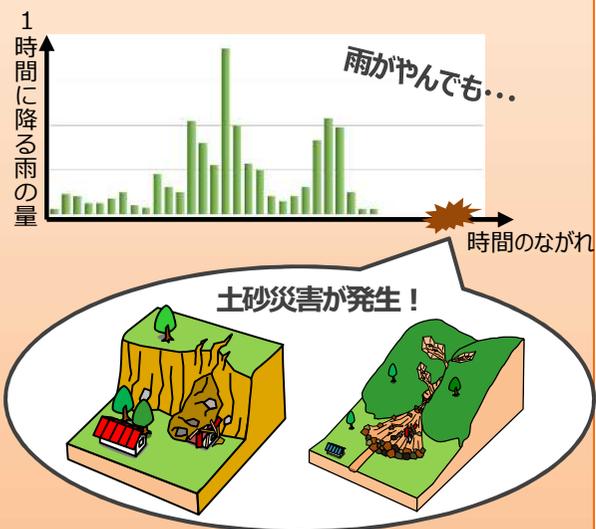


(参考) 大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

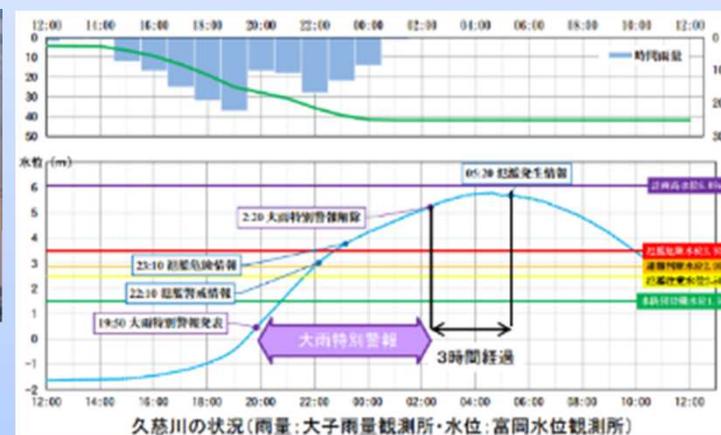
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越刃川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



(参考) 大雨特別警報とは

位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所から まだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や 広域の防災支援活動の強化

(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	キキクル (危険度分布)	相当する警戒レベル			
5	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	災害切迫	5相当			
<警戒レベル4までに必ず避難!>								
4	・危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報	高潮 警報	高潮 特別警報	危険	氾濫 危険情報	4相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	※ 大雨警報 洪水警報	※ 高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒	氾濫 警戒情報	3相当	
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮 注意報	注意	氾濫 注意情報	2相当	
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	早期注意情報 (警報級の可能性)					

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3 (高齢者等避難) に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

(参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- ▶ この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

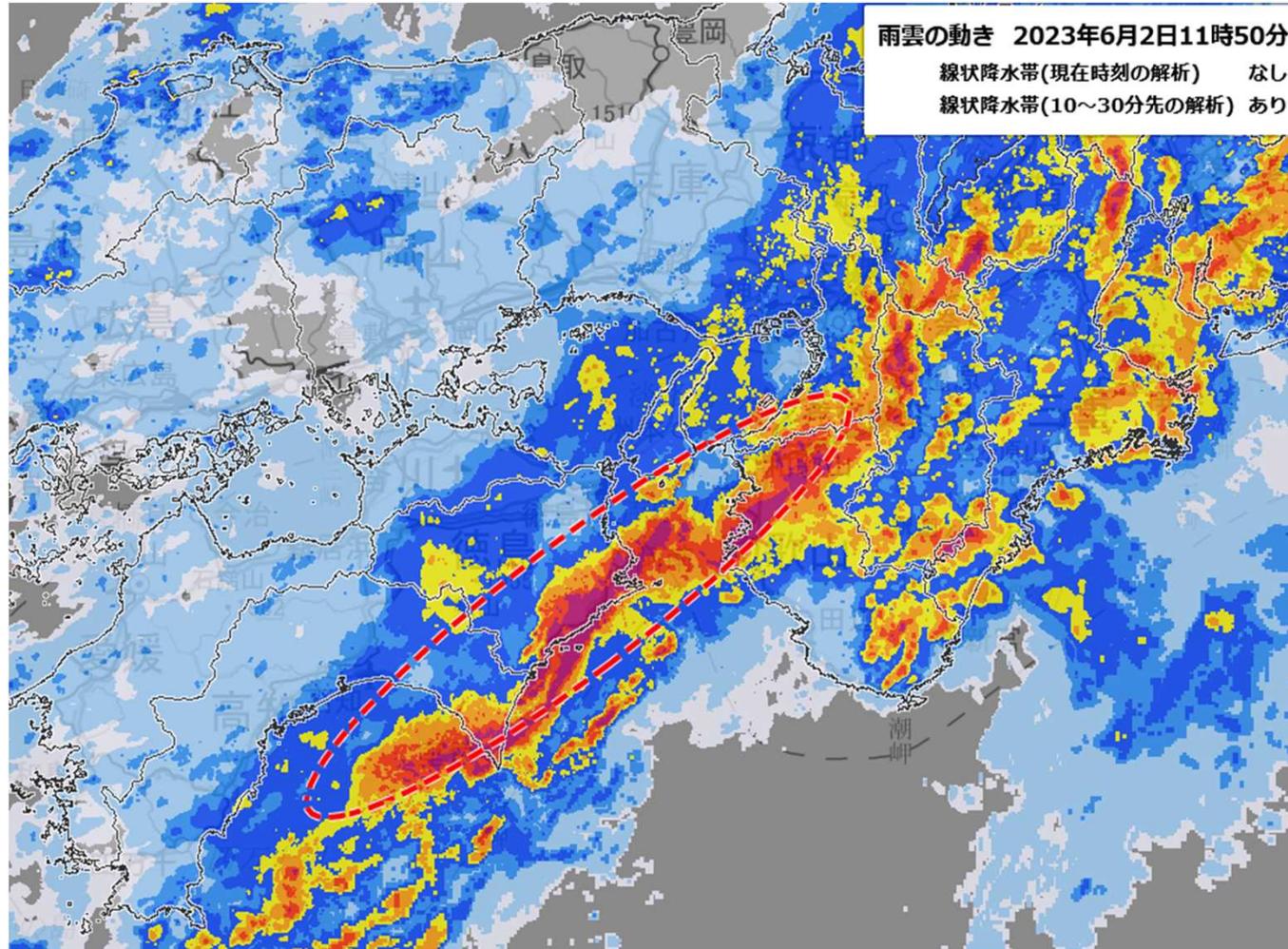
※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

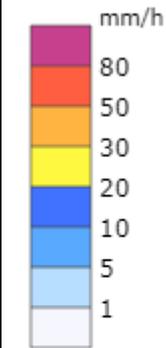
顕著な大雨に関する和歌山県気象情報 第1号

2023年06月02日12時01分 和歌山地方気象台発表

和歌山県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。



降水強度

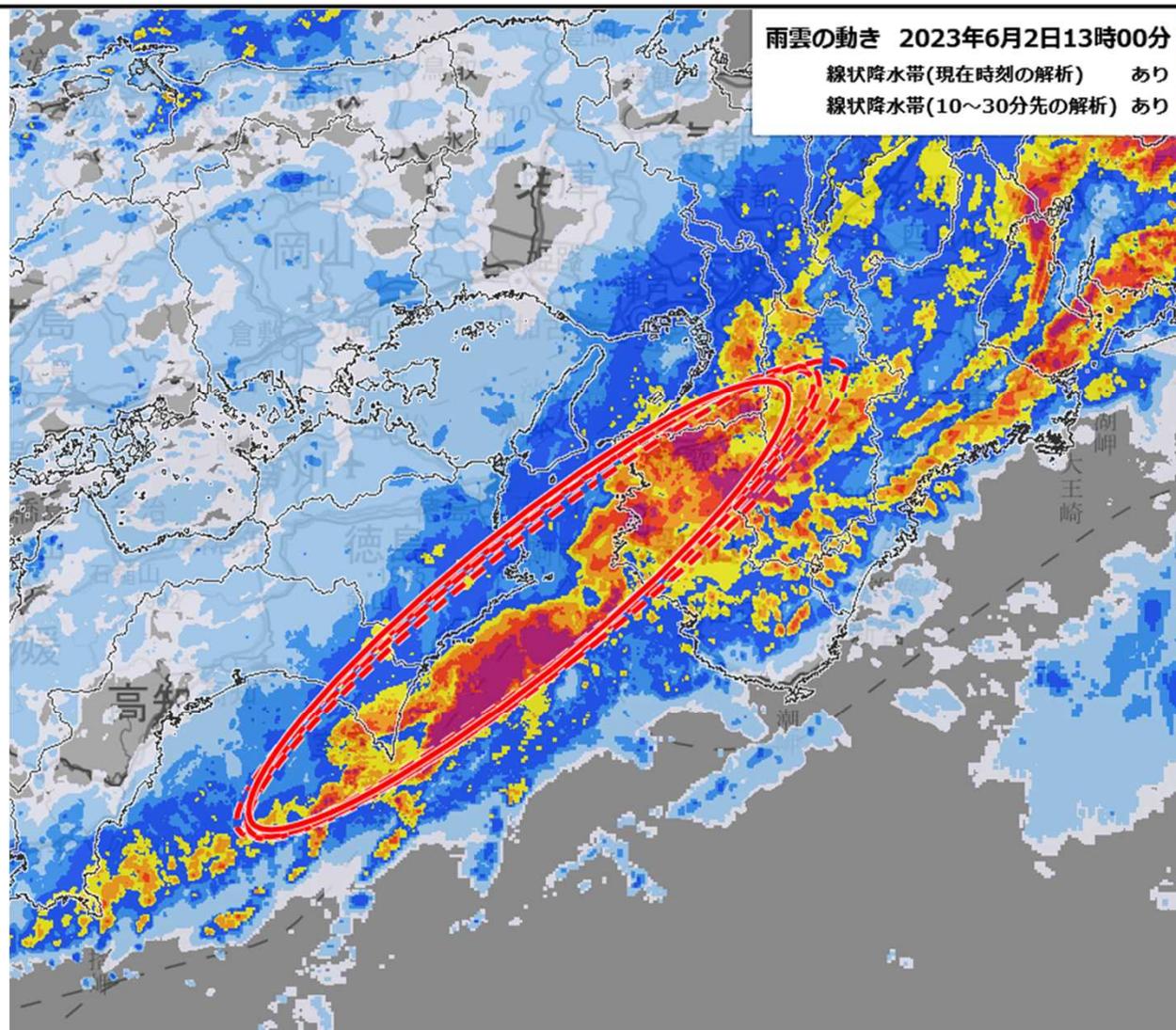


大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域(現在時刻の解析)

顕著な大雨に関する奈良県気象情報 第1号

2023年06月02日13時10分 奈良地方気象台発表

奈良県南部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。



降水強度



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域(現在時刻の解析)